

◆**骨寺村莊園遺跡(ほねでらむらしょうえんいせき)**
かつて骨寺村と呼ばれた一関市本寺地区は、中尊寺の莊園が営まれたところ。14世紀の絵図に描かれた中世の農村の基本的な土地利用形態と居住形態を彷彿とさせる農村の良好な文化的景観が現在に継承されています。

◆**柳の御所遺跡(やなぎのごしよいせき)**
柳の御所遺跡から発掘された印章や陶磁器、かわらけなどの貴重な出土品を展示しています。
【開館時間】9:00～16:30 【入館料】無料 【休館日】毎週月曜、年末年始

◆**一関市博物館(いせき博物館)**
陸奥国骨寺村絵図(複製)や遺跡の地形模型などが展示されています。
【開館時間】9:00～17:00 【休館日】毎週月曜、年末年始、
【入館料】大人300円、小学生100円(一関市の小学生は無料)

◆**骨寺村莊園遺跡「老種子亭」(せうしんじ)**
展示棟にて、陸奥国骨寺村絵図(複製)、骨寺村莊園遺跡の歴史、景観の照会映像の上映、地形等の模型展示があります。郷土料理レストラン、産地直売所もあります。
【開館時間】9:00～17:00 【休館日】毎週火曜、年末年始【入館料】無料

【平泉の文化遺産「構成資産」位置図】



6 世界遺産「平泉」をさらに知るために

◆**平泉文化遺産センター(へいせんぶんか遺産センター)**
奥州藤原氏四代を中心とした平泉文化の発展に関わる資料の収集・保存・調査・研究を行い、その成果をわかりやすく展示しています。
【開館時間】9:00～17:00 【入館料】無料【休館日】年末年始、展示替期間

◆**柳の御所資料館(やなぎのごしよ資料館)**
柳の御所遺跡から発掘された印章や陶磁器、かわらけなどの貴重な出土品を展示しています。
【開館時間】9:00～16:30 【入館料】無料 【休館日】毎週月曜、年末年始

◆**一関市博物館(いせき博物館)**
陸奥国骨寺村絵図(複製)や遺跡の地形模型などが展示されています。
【開館時間】9:00～17:00 【休館日】毎週月曜、年末年始、
【入館料】大人300円、小学生100円(一関市の小学生は無料)

◆**骨寺村莊園遺跡「老種子亭」(せうしんじ)**
展示棟にて、陸奥国骨寺村絵図(複製)、骨寺村莊園遺跡の歴史、景観の照会映像の上映、地形等の模型展示があります。郷土料理レストラン、産地直売所もあります。
【開館時間】9:00～17:00 【休館日】毎週火曜、年末年始【入館料】無料

7 世界遺産とは何か
すばらしい自然や文化を、国や民族の区別無く、世界中の人々にとって大切な宝物として守りついでに、昭和47年(1972年)のユネスコ総会で世界遺産条約が採択されました。この条約に基づいて作成された「世界遺産リスト」に登録された遺産を「世界遺産」といいます。世界遺産は、次のように分類されます。(合計で981件-H25.7現在)
◆**文化遺産**: すぐれた価値を持つ記念工物、建築物群、遺跡。
◆**自然遺産**: すぐれた価値を持つ地形や生物、景色などを含む地域。
◆**複合遺産**: 文化遺産と自然遺産の両方の価値を持つ遺産。
日本国内では17の遺産が登録されています。

【文化遺産】
○法隆寺地域の仏教建造物(奈良県/1993年)
○姫路城(兵庫県/1993年)
○京都京都の文化財(京都府、滋賀県/1994年)
○白川郷・五箇山の合掌造り集落(岐阜県、富山県/1995年)
○原爆ドーム(広島県/1996年)
○厳島神社(広島県/1996年)
○古都奈良の文化財(奈良県/1998年)
○日光の社寺(栃木県/1999年)
○琉球王国のグスクおよび関連遺産群(沖縄県/2000年)
○紀伊山地の霊場と参詣道(三重県、奈良県、和歌山県/2004年)
○石見銀山遺跡とその文化的景観(島根県/2007年)
○平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園および考古学的遺跡群(岩手県/2011年)
○富士山-信仰の対象と芸術の源泉(山梨県、静岡県/2013年)
○白山山地(秋田県、青森県/1993年)
○屋久島(鹿児島県/1993年)
○知床(北海道/2005年)
○小笠原諸島(東京都/2011年)

8 日本国内の世界遺産
◆**複合遺産**: 文化遺産と自然遺産の両方の価値を持つ遺産。
◆**自然遺産**: すぐれた価値を持つ地形や生物、景色などを含む地域。
◆**文化遺産**: すぐれた価値を持つ記念工物、建築物群、遺跡。
世界遺産は、次のように分類されます。(合計で981件-H25.7現在)
作成された「世界遺産リスト」に登録された遺産を「世界遺産」といいます。世界遺産は、次のように分類されます。(合計で981件-H25.7現在)
◆**文化遺産**: すぐれた価値を持つ記念工物、建築物群、遺跡。
◆**自然遺産**: すぐれた価値を持つ地形や生物、景色などを含む地域。
◆**複合遺産**: 文化遺産と自然遺産の両方の価値を持つ遺産。
日本国内では17の遺産が登録されています。

6 世界遺産「平泉」を構成する史跡等

- ① **中尊寺(ちゆうそんじ)**
初代清衡が12世紀初めから四半世紀をかけて造った寺院で、多宝塔や二階大堂など多くの堂塔が建てられました。14世紀にはそのほとんどを焼失しましたが、天治元年(1124年)に完成した金色堂をはじめ、現在も多くの国宝や重要文化財が守り伝えられています。
国宝中尊寺金色堂は蒔絵・螺鈿など日本の漆芸・金工の粋を極めたもので、今も奥州藤原氏三代のご遺体と四代の首級が納められています。
- ② **毛越寺(もうつじ)**
二代基衡が12世紀中頃に造った寺院で、当時は堂塔40、禅房500の規模を誇り、金堂円隆寺は「吾朝無双」と評されていました。度重なる災禍により建物は消失してしまいましたが、建物跡がほぼ完全な形で保存され、大泉が池を中心とした浄土庭園は、四季折々の花々とともにまさに浄土の世界を体感できます。
- ③ **観自在王院跡(かんじざいおういんあと)**
毛越寺のとなりには、基衡夫人が建てたとされる観自在王院があり、阿弥陀堂や舞鶴が池を中心とした浄土庭園が設けられていました。現在は、庭園の復元整備が行われて史跡公園になっています。
- ④ **無量光院跡(むりょうこういんあと)**
三代秀衡が12世紀後半に建てた寺院で、宇治の平等院鳳凰堂をモデルに造られましたが、規模としては一回り大きいものでした。しかし、建物は焼失し、現在は礎石と池跡などが残っているだけです。
東門跡に立つと、中島と本堂が一直線に並び、その先には金鶏山が望めます。彼岸の頃本堂に向かうと、ちょうど背後の金鶏山に夕日が沈み、浄土の世界を体感できます。
- ⑤ **金鶏山**
中尊寺と毛越寺のほぼ中間に位置する、平泉の空間設計の基準となった山です。平泉を守るため雌雄一対の黄金の鶏を埋めたという伝説が残っています。山頂には、歴代の奥州藤原氏により経塚が築かれ、金鶏山が信仰の山として意識されていたことが伺えます。

9 世界遺産暫定リスト
各国はこれから世界遺産に登録しようとするものリストを作った、ユネスコ世界遺産センターへ提出しなければなりません。これが暫定リストと呼ばれるものです。暫定リストに登録されている国内の資産は、「富岡製糸場」、「長崎の教会群」ほか10件です。そのうち岩手県に関連するものは、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」、「九州・山口の近代化産業遺産群」、「平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」(拡張)の3件です。
詳細は文化庁HP(http://bunka.ni.ac.jp/jp/world/h_10.html)

10 東北復興平泉宣言
平泉が世界遺産に登録されたことは、東日本大震災津波で大きな被害を受けた岩手県をはじめ東北の方々への希望の光となるものです。そこで岩手県知事は以下の「東北復興平泉宣言」を発表しました。
平泉の文化遺産が、ユネスコ世界遺産に登録されました。平泉町、岩手県、そして東北の私たちに、とても大きな被害を受けました。日本全国、そして世界中から多くのご支援をいただいたことに対し、心から感謝いたします。
11世紀、東北では激しい戦乱があり、多くの命が犠牲となりました。奥州藤原氏の初代清衡公は、荒廃した国土を復興し、戦乱の無い平和な理想郷を実現するために、この地にこの世の浄土を創ろうとしました。こうした、平泉の文化遺産が築かれていきました。
仏教の考えに基づいて造られた平泉は、素晴らしい寺院や庭園を残すとともに、あらゆる生命を尊び共に生きるという理念を私たちに伝えていいます。私たちが、平泉の理念を胸に、東北の災害からの復興に取り組みます。そして、平泉の文化遺産を、将来にわたって守り伝えていくことを誓います。
平成23年7月3日
岩手県民を代表して 岩手県知事 遠増拓也

5 世界遺産「平泉」に関連する史跡等

- ⑥ **柳の御所遺跡(やなぎのごしよいせき)**
奥州藤原氏の政庁「平泉館」といわれているところです。12世紀の平泉遺跡群の中でも遺構、遺物がずば抜けて多く、高価な中国産の陶磁器や国産の陶器、宴会用の「かわらけ」などが発見され、奥州藤原氏の文化と経済力の高さをうかがわせるものです。
現在、史跡公園として整備中ですが、隣接する柳の御所資料館では、柳の御所遺跡から発掘された貴重な遺物を展示しています。
- ⑦ **達谷窟(たつこくのいわや)**
9世紀初頭に、征夷大将軍坂上田村麻呂が、蝦夷討伐の戦勝を記念して建てたと伝えられています。当時の幹線道だった「奥大道」沿いの交通の要衝に造られた寺院で、毘沙門堂の前面には浄土庭園も設けられています。また、毘沙門堂の西側の岩壁には磨崖仏が彫られています。
- ⑧ **白鳥館遺跡(しろとりだていせき)**
蛇行する北上川に囲まれた地形から、北上川の要衝として河川交通の監視などを行っていたところと考えられており、平泉の繁栄を支えた北上川利用の様相を示す遺跡です。奥州藤原氏に先行する安倍氏に係わる伝承を持ち、中世城館の特徴を良く表しています。
- ⑨ **長者ヶ原廃寺跡(ちやうじゃがはらはいせき)**
衣川の北岸流域に造営された寺院の跡で、仏教文化の形成が安倍氏の時代にすでに始まっていたことがうかがえます。続く平泉文化において浄土思想が隆盛する歴史的な背景を物語る寺院跡です。
- ⑩ **骨寺村莊園遺跡(ほねでらむらしょうえんいせき)**
かつて骨寺村と呼ばれた一関市本寺地区は、中尊寺の莊園が営まれたところ。14世紀の絵図に描かれた中世の農村の基本的な土地利用形態と居住形態を彷彿とさせる農村の良好な文化的景観が現在に継承されています。

世界遺産「平泉」のしおり
H25.7.1

平泉とその周辺には、平安時代末期に奥州藤原氏が築いた「国宝中尊寺金色堂」や「特別名勝毛越寺庭園」に代表される仏教寺院や庭園など多くの遺跡や景観が現在まで守り伝えられています。この貴重な文化遺産は、平成23年6月、フランスのノリで開催された第35回世界遺産委員会において、以下の内容で世界遺産リストに記載(=世界遺産登録)することが決定されました。
表題:平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群
構成資産:中尊寺、毛越寺、観自在王院跡、無量光院跡、金鶏山
けれども、「世界遺産ってどんなもの?」「平泉は、ほかの地域の史跡とどこが違うの?」と尋ねられても、すぐに答えられる人は意外に少ないのではないでしょうか。
このおしおりでは、「世界遺産 平泉」について、知っているところと得手を互知識を集めてみました。
平泉への旅行を計画している方や、お客様がいらっしゃる時、お国自慢をしたいときなどの話題として活用ください。

岩手県生涯学習文化課 世界遺産担当
[E-mail] DR005@pref.iwate.jp
[TEL] 019-629-6177/[FAX] 019-629-6179
[URL] <http://www.pref.iwate.jp/wp0907/>

1 「平泉の文化遺産」がなぜ世界遺産なのか

- 平泉には、仏教の中でも、特に浄土思想の考えに基づいて造られた多様な寺院・庭園が、一群として良く残っています。
- 寺院や庭園は、この世に理想世界を創り出そうとしたもので、海外からの影響を受けつつ日本で独自の発展を遂げたものでした。
- 平泉の理想世界の表現は、他に例の無いものとされています。

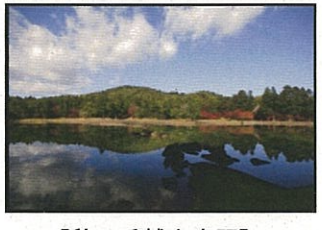
2 世界遺産に登録されるためには:顕著な普遍的価値

世界遺産として登録されるためには、資産に「顕著な普遍的価値」があることが必要とされます。
その証明のためには、①世界遺産委員会が示す10の価値基準のうち最低1つに該当すること ②真实性・完全性を満たすこと ③有効な保存管理体制が整備されていること、を示す必要があります。

3 「世界遺産 平泉」の顕著な普遍的価値

平泉は、10の価値基準のうち、iiとviについて認められました。
【平泉に見る思想・文化の交流】
基準 ii : 建築、科学技術、記念碑、都市計画、景観設計、の発展に重要な影響を与えたある期間にわたる価値観の交流またはある文化圏内での価値観の交流を表すものである。

平泉の庭園及び寺院は、仏教が中国・朝鮮半島を経由して日本に伝播し、在来の自然崇拜思想と融合して独特の発展を遂げ、それが作庭技術や仏堂建築に反映されて生み出されたものです。
独特の性質を持つものとなった日本の仏教、中でも極楽浄土信仰を中心とする浄土思想は、様々な阿弥陀堂建築や、独特の浄土庭園を確立させる原動力となりました。



【秋の毛越寺庭園】

【毛越寺の「延年」】

【川西念仏剣舞】

【無量光院に沈む夕日(復元 CG)】